

第六次前橋市総合計画改訂版

(平成 25 年度～平成 29 年度)

総括報告書

平成 30 年 8 月

前橋市

1 はじめに

前橋市では、平成20年度から29年度までの10年間を計画期間とする第六次前橋市総合計画に掲げた将来都市像「生命都市いきいき前橋」の実現に向け、積極的なまちづくりを進めてきました。

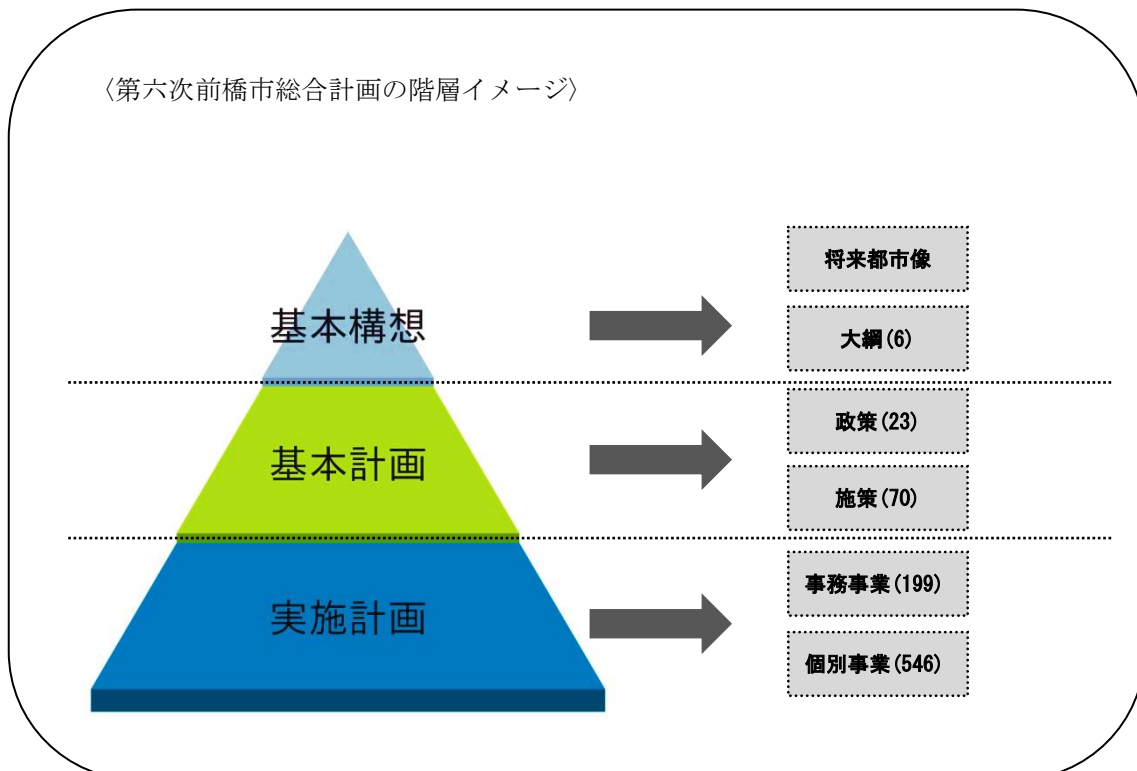
平成30年度は、第六次前橋市総合計画の計画期間が終了し、新たな総合計画である第七次前橋市総合計画の計画期間へ切り替わる節目の年であることから、前総合計画に位置付けられた各事業の取組結果を総括し、そこで得た知見等を今後の市政運営の改善につなげていくことが重要となります。

本報告書では、第六次前橋市総合計画の後期計画である「第六次前橋市総合計画改訂版」に位置付けられた各事業における実績や成果、積み残した課題等を明確にし、報告書として取りまとめました。

2 総括の範囲

第六次前橋市総合計画改訂版は、将来都市像「生命都市いきいき前橋」の実現を目指し、「改訂基本構想」、「後期基本計画」、「後期実施計画」の3階層で構成されています。

ここでは、下記階層イメージ図中の「施策」に掲げた主要指標の実績と、その下位の階層となる「事務事業」や「個別事業」における5年間の取組結果を総括しています。



(1) 各施策における主要指標の達成状況

70の施策には、その施策を推進することによって得られる成果を検証することや施策の進捗状況を測定することを目的として主要指標を設定しています。

なお、主要指標は各施策の達成度を可視化し、それぞれの目標を分かりやすく示したもので、事務事業の進捗状況を測定することを目的として設定された活動指標とは異なります。

【各施策における主要指標の達成率分布】

達成率	～50%	～75%	～99%	100%
件数	6	4	24	36

(2) 各個別事業の今後について

第六次前橋市総合計画改訂版において、最も個別具体的な取組を示した階層である「個別事業」(全546事業)を、以下の4つの区分に整理しました。

- ① 新たな総合計画である第七次前橋市総合計画の推進計画に位置付けがあるもの…《第七次総合計画》
- ② 各所属が所管する分野別の個別計画に位置付けているもの…《分野別個別計画》
- ③ 第六次前橋市総合計画改訂版の計画期間中における社会状況等の変化や、事業の目的の達成等により取組が終了したもの…《事業完了》
- ④ 法定事務に該当するものや、その他の理由により特定の計画へ位置付けられていないもの…《その他》

【各個別事業の分布】

区分	①総合計画	②個別計画	③事業完了	④その他
個別事業数	142	205	30	169

今後は「①第七次総合計画」に位置付けがある事業を重点的に推進し、まちづくりを進めていくとともに、各事業担当課が主体となり、「②分野別個別計画」の区分の事業は総合計画と、「④その他」の区分の事業は分野別個別計画及び総合計画と整合を図りながら、選択と集中の観点に基づき見直し等を行っていくこととします。

第1章

快適で暮らしやすいまちづくり

(暮らしの基盤・安全安心)

大綱 I 快適で暮らしやすいまちづくり

都市インフラの整備においては、都市計画に基づく効率的で安全性の高いまちづくりや維持管理を概ね順調に進めているが、人口動態の変化への対応や、それに伴う税収減への対応が大きな課題となっている。

人口減少に伴い、まちなかへの居住促進や中心市街地の利便性向上などコンパクトなまちづくりがより一層求められているとともに、高齢化の進展により、移動困難者に対応した交通ネットワークの整備を推進していく必要がある。

また、財源に限られる中、行政がすべての公共サービスを担うことが限界になってきており、民間活力を導入した社会施設の整備や、自助・共助・公助による安全・安心なまちづくりを図っていくことが不可欠となっている。

◆本大綱に位置付けられた指標の達成率分布

達成率	～50%	～75%	～99%	100%
件数	3	0	4	6

◆各施策における主要指標の実績

政策 1 良好な都市基盤を整備します

施策 01 快適な都市空間の創出

都市の健全な発展と秩序ある土地利用を促進するためには、長期的な視野・展望に立った都市計画が必要です。また、多くの市民が暮らし、都市機能が集積している地域を中心として、暮らしの基盤整備を進める必要があります。市全体の合理的な土地利用を推進するとともに、都市機能が集積する都心核、地域核、地域拠点の計画的な整備を推進します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
都心核・地域核における低未利用地面積の低減	22.0%以下	16.6%	100%

施策 02 暮らしやすい市街地の整備

道幅の狭い道路や不整形の宅地が多く見られる市街地は、まちの利便性向上と防災の観点から、整備改善を図る必要があります。災害に強く、快適で利便性の高い安全で安心な市街地を形成するため、地域内の生活道路や公園など、市民生活に欠かせない公共空間の一体的な整備を推進します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
土地区画整理事業による市街地整備率（市施行）	78.7%	71.8%	91.2%

施策 03 良好な居住環境の形成

人口減少の時代の中でも、より多くの方に前橋で暮らしてもらえるように、暮らしの基盤整備とあわせて、居住環境の充実を図る必要があります。住宅の「量」の確保から住生活の「質」の向上を図るため、魅力的な居住環境の創出を促進するとともに、市民にやさしい住まいづくりを推進します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
最低居住面積水準を満たしていない住宅の解消	早期に解消	3.8%	20.8%

施策 04 魅力ある景観の形成

「暮らしやすさ」を向上させるためには、都市の機能的な側面を充実するだけでなく、郷土への愛着や景観の美しさなど、都市としての魅力を高めていく必要もあります。郷土・前橋への愛着と誇りを醸成するため、自然的風景や歴史的建造物など、本市固有の地域資源を活かした前橋らしい景観づくりを推進します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
景観形成重点地区指定箇所数	2地区	1地区	50.0%

政策 2 円滑な都市交通網を構築します

施策 01 幹線道路等の整備

市内交通循環の円滑化や他都市への移動・交流を促進するため、国や県との連携・協力により、幹線道路等のネットワーク構築を図ります。また、安全安心で快適な通行環境を確保するため、道路・橋りょうの適切な維持管理に努めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
中心市街地から市内の高速道路 IC までの平均移動速度	22km/h	25km/h	100%

施策 02 利用しやすい公共交通体系の整備

バスをはじめとした公共交通は、市民にとって重要な移動手段であり、さらなる高齢社会に対応するためにも必要不可欠であることから、地域の特性や実情に応じて公共交通のあり方を見直し、誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの構築に取り組みます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
市民一人あたりの公共交通年間利用回数	55回	57.8回	100%

施策 03 自動車利用からの転換促進

過度に自家用車に依存したライフスタイルからの脱却を図るため、自動車利用からの転換を促すとともに、徒歩や自転車で移動しやすい環境づくりを推進します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
エコ通勤推進事業（県主催）における市内参加事業者のエコ通勤率	30.4%	-	-

※群馬県事業の終了に伴い、指標の集計が終了したため実績なし

政策3 暮らしに大切なライフラインを強化します

施策01 安全で安心な水の安定供給

水は命の源であり、水道は、市民生活や都市活動を営む上で欠くことのできない重要なライフラインの一つです。利根川や赤城山麓の地下水など、豊かな水源に恵まれた地域特性を活かしながら、市民が安心して使用できる、良質な水道水の安定供給を推進します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
市民一人当たり貯留飲料水量	285L/人	284L/人	99.6%

施策02 衛生的な汚水処理の推進

本市では、公共下水道をはじめ、農業集落排水施設や合併処理浄化槽、コミュニティプラントなどによって汚水・雨水を処理しています。今後も引き続き、快適で衛生的な住環境の確保と公共用水域の水質保全を図るため、地域の実情に応じた汚水処理を行うとともに、下水道施設の計画的な維持・更新を図ります。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
汚水処理人口普及率	92.8%	92.3%	99.4%

政策4 安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します

施策01 多様な連携による防災の推進

大規模災害の発生に備え、地域住民による自主防災をさらに促進するとともに、災害時における都市機能の継続方法や避難所・経路の見直し、備蓄食糧の確保、放射線への対応などを含めた災害対策を強化し、市民・地域・行政の連携による危機管理体制を構築します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
自治会単位での自主防災会の組織率	100%	80.0%	80.0%

施策02 皆で担う防犯の推進

県内の刑法犯の認知件数は、平成16年をピークに年々減少していますが、近年、子どもを狙った犯罪や振り込め詐欺等の悪質な犯罪が増加傾向にあり、さらなる治安の維持・防犯対策の強化が求められています。刑法犯罪などを抑制し、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、防犯活動の実施や防犯組織の支援に取り組みます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
市内の刑法犯認知件数	3,500件以下	2,537件	100%

施策 03 消防体制の充実・強化

地震や台風などの災害の大規模化・複雑化に加えて、高齢化の進展に伴う救急・救命ニーズの高まりなど、消防行政を取り巻く環境は大きく変化しており、こうした状況への迅速・的確な対応と高度な消防・救急サービスの提供が求められています。火災をはじめとする各種災害から市民を守るため、火災予防・救助・救急・消火体制をさらに充実・強化します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
住宅火災の発生件数	38 件以下	25 件	100%

施策 04 交通安全の向上

本市は、人口 10 万人あたりの交通事故件数・死傷者数が大変多い状況にあり、1 世帯あたりの自家用車保有台数が全国上位であることを踏まえ、交通安全対策を強化する必要があります。交通事故から市民を守るため、危険箇所の早期発見に努めるとともに、通学路の安全確保や交通マナーの向上など、地域の交通安全活動を推進します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
年間交通事故死傷者数	4,000 人以下	3,889 人	100%

第2章

恵み豊かな自然と共生するまちづくり

(環境共生)

大綱Ⅱ 恵み豊かな自然と共生するまちづくり

市民主体の自然環境の保全や、G活チャレンジ事業などによるごみの減量化、そして再生可能エネルギーの導入やCO2削減の普及啓発事業など、環境にやさしいまちづくりに取り組んでいる。

一方で、省エネやエコを意識した取組がなかなか徹底できていない現状もあり、今後更なる注力が必要となっているとともに、循環型社会を実現させるため、更なるごみの減量や資源化率の向上に向けた官民連携の取組を促進させることが求められている。

また、持続可能な低炭素社会の形成のために自家用車利用から自転車や、公共交通機関の利用への転換によるガソリン使用の低減等を促す啓発事業や、家庭における新エネルギー及び次世代技術の導入に寄与する施策の検討・実施が求められている。

◆本大綱に位置付けられた指標の達成率分布

達成率	～50%	～75%	～99%	100%
件数	0	0	5	2

◆各施策における主要指標の実績

政策1 良好な環境を保全・創造します

施策01 緑豊かなまちづくりの推進

「水と緑と詩のまち」とうたわれるように、本市は豊かな緑が自慢の都市です。花や草木の緑は、日々の生活に潤いとやすらぎを与えてくれる大切な資源であることから、今後も引き続き、「緑豊かなまちづくり」に努めるとともに、日々の暮らしの中で豊かな自然を実感できるまちを目指して、環境と調和したまちづくりに取り組みます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
都市公園の整備面積（一人あたりの公園面積）	12.50 m ² /人	11.71 m ² /人	93.6%

施策02 環境保全啓発・学習の推進

世界的に地球環境への意識が高まる中、「環境宣言都市」である本市でもさまざまな環境保全活動が行われるようになりました。今後、環境への意識をさらに高めるため、市民や地域をはじめとするさまざまな団体が主体的に取り組む環境保全活動を支援するとともに、環境学習機会の充実を図ります。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
市民団体等と連携した環境啓発等に寄与する事業の数	15 事業	16 事業	100%

施策 03 積極的な環境改善の推進

市民の健康を守り、今ある環境を将来の世代に引き継ぐためには、今後も引き続き環境改善に努め、恵み豊かな自然を保全していく必要があります。引き続き良好な生活環境を維持しながら、環境改善に努めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
環境基準（河川）を達成した地点の割合	100%	85.0%	85.0%

政策 2 環境への負荷の少ない循環型社会を形成します

施策 01 ごみ減量・資源化の促進

今ある地球環境を将来の世代に引き継ぐことは、現在を生きる私たちの責務です。一人ひとりがその自覚を持ち、正しく行動することで、地球環境にかかる負荷を極力減らしていくことが何より重要です。循環型社会の実現に向けて、市民、事業者など、誰もがごみの発生抑制や減量・資源化に取り組める体制づくりを進め、環境負荷の低減に努めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
一人一日あたりの家庭ごみ排出量 (資源ごみを除く)	511g	565g	89.4%

施策 02 廃棄物の適正処理と処理施設の整備・充実

本市ではこれまで、ごみ減量を推進するため、3Rに積極的に取り組んできましたが、全国比では低い水準にあります。家庭や事業所から発生する廃棄物を排出から処分までの各段階で、適正に処理できる体制に努めるとともに、効率的な処理施設を整備し、将来にわたる廃棄物処理体制を確保します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
資源化施設における資源化量	7,100t	6,790t	95.6%

政策 3 持続可能な低炭素社会を形成します

施策 01 温室効果ガスの削減推進

温室効果ガスは、日常生活やレジャー、企業活動などのあらゆる場面で発生するため、私たち一人ひとりの行動が大変重要であり、温室効果ガスを出さない・抑える行動を日常に定着させる必要があります。地球温暖化の抑制に向けて、温室効果ガスの削減を進めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
温室効果ガス（CO2）排出量	2,075千t以下	2,522千t	78.4%

施策 02 エネルギー・資源の活用推進

低炭素社会を実現するため、暮らしの中に、温室効果ガスを抑制する新たな環境技術や、太陽光をはじめ小水力発電などの地球環境に優しいエネルギーを積極的に採り入れていく必要があります。エネルギーや資源を有効活用して環境負荷の低減に努めるとともに、太陽光をはじめ小水力発電などの地球環境に優しい新エネルギー、次世代技術の導入を進めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
太陽光発電による発電能力量（累計）	89,000KW	190,500KW	100%

※平成 28 年の実績値を記載

第3章

個々が光り輝くまちづくり

(健康・福祉)

大綱Ⅲ 個々が光り輝くまちづくり

市民一人ひとりが健康で豊かな生活を送るために、医療機関、社会福祉協議会、市民活動支援センター（M サポ）などの関係機関と連携を図りながら健康増進、福祉サービスを提供しているが、近年ではとりわけ高齢化の進展やそれに伴う扶助費の増加など財政的な課題がますます拡大してきている。

今後も引き続き、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも健康なまま生活を続けられるよう、地域の医療・介護の関係機関が連携する支援体制の充実を図るとともに、障害者の自立や社会参加の推進に向けて、障害者相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを中心に、自立支援協議会と連携して、障害福祉サービスの充実を図る。更に、未来を担う子どもたちを安心して育てられるよう、子育て世代包括支援センターを核とした妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を推進する。

◆本大綱に位置付けられた指標の達成率分布

達成率	～50%	～75%	～99%	100%
件数	0	0	1	11

◆各施策における主要指標の実績

政策1 市民の健康を増進します

施策01 生涯をとおした健康づくり

ライフスタイルの変化に伴う就寝サイクルや食習慣の乱れから、生活習慣病などで健康を害する人が増えています。市民の健康寿命の延伸、生活の質の向上を目指し、健康診査、健康相談等の充実、市民の健康づくり活動の支援により、生涯を通じた心や身体の健康づくりを推進します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
子宮頸がん検診受診率	50.0%	58.2%	100%

施策02 安心して医療が受けられる環境づくり

医療機関に恵まれた本市では、休日や夜間でも安心して医療を受けられる体制が構築されている一方で、医療費総額の抑制を図ることが求められています。今後も多くの市民が安心して医療を受けられるよう、国民健康保険の健全な財政運営に努め、適切な保険給付を行うとともに、医療機関等との連携を図り、救急医療体制や休日・夜間診療の確保に努めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
夜間救急診療所の受診者数	8,700人	9,556人	100%

施策 03 生活衛生の確保と健康の維持

感染症や食品などに起因する健康被害が社会問題となる中で、市民の健康に対する意識や関心が高まっています。感染症対策や生活衛生、食品衛生の向上を図るとともに、健康危機管理体制の充実・強化により、健康被害の発生予防、拡大防止等に努めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
子どもの予防ワクチンの接種率	90.0%	103.2%	100%

政策 2 安心して子育てできる環境を整備します

施策 01 親と子の健康・福祉の増進

核家族化の進展や地域の間関係の希薄化に伴い、妊娠や出産、子育てに対して負担やストレスを感じる家庭が増えています。出産前後のケアを充実し、保護者の子育てに対する不安や負担の軽減を図ることで、子どもを産み育てやすい環境づくりを推進します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
①乳幼児健診受診率（1歳6か月児健診）	96.0%	97.1%	100%
②乳幼児健診受診率（3歳児健診）	96.0%	96.6%	100%

施策 02 地域における子育て支援の充実

共働き家庭の増加や就労形態の多様化に伴い、保育サービスに対する需要は多岐にわたっています。地域の子育て経験者などの協力を得ながら、保育所等の身近な施設を最大限に活用した子育て支援サービスの充実を図り、地域社会全体で子どもや子育てを応援する体制づくりを進めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
体調不良児の対応施設数	16箇所	21箇所	100%

施策 03 支援を必要とする家庭や児童へのきめ細かな対応

児童虐待などの問題を抱え、継続的な支援を必要とする家庭に対して、実態に応じた相談支援や自立支援策の充実を図ります。また、障害のある子どもを持つ家庭へのきめ細かな支援体制の整備に取り組みます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
子育ての不安、悩み等を抱える家族への相談支援延べ件数	2,500件	4,298件	100%

政策3 生き生きと暮らせる高齢社会を実現します

施策01 高齢者の生きがいづくりと健康増進

社会全体の高齢化が進む一方で、地域で活躍する元気な高齢者も増えてきていることから、高齢者のより一層の社会参加の促進と生きがいづくりを支援するとともに、健康づくりや介護予防に関する取り組みの充実を図ります。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
高齢者に占める要介護認定者の割合	18.0%以下	16.6%	100%

施策02 住み慣れた地域での生活支援

支援や介護が必要となった場合でも、住み慣れた地域で安心して生活を続けられるように、地域特性や利用者のニーズに応じた柔軟なサービス提供体制の構築や介護サービスを充実・向上する必要があります。高齢者の生活環境や要介護状態に応じた在宅生活の支援や介護サービスなどにより、住み慣れた地域での生活を支援します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
介護サービス利用者に占める居宅サービス利用者の割合	82.1%	82.8%	100%

政策4 障害のある人の自立を支援します

施策01 自立と社会参加の促進

働く意欲を持った障害のある人が、障害特性や働き方に応じて支援を受けられる環境を充実するとともに、地域で自立した生活を送るために必要な相談支援などを強化することが求められています。障害のある人が主体性・自立性を持って積極的に社会参加できるように、一人ひとりの個性や能力、ニーズなどに合わせた適切な支援に向けて、各種サービスの充実や就労支援の強化に取り組めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
障害者就労支援施設から一般就労へ移行した人数	16人	22人	100%

施策02 地域で生活できる環境の整備

障害のある人が地域で安心して暮らせる環境づくりを推進するために、日常生活に必要な支援の充実に努めるとともに、障害者の権利擁護と理解促進に取り組めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
相談支援事業の利用件数	6,300件	6,606件	100%

政策5 共に支えあう福祉社会を実現します

施策01 地域福祉の推進

高齢化の進行や個々の価値観が多様化し、地域コミュニティ機能が低下する一方で、行政サービスだけでは対応が難しい地域課題が増えてきています。こうしたことから、地域福祉活動の活性化に向けて、地域・行政・関係機関が連携し、地域福祉のネットワークづくりを推進することで、地域住民が主体となる福祉活動の促進に取り組みます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
ふれあい・いきいきサロンの実施箇所数	300箇所	291箇所	97.0%

施策02 支援を必要とする世帯への援助・指導

経済や雇用情勢が厳しさを増す中で、生活困窮者や生活保護受給者が増加していることから、要支援者の生活状況を的確に把握し、適正な援助を行うとともに、就労が可能な生活保護世帯の経済的自立に向け、関係機関と連携し就労に必要な総合的支援に取り組みます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
生活保護や住宅手当受給者を「福祉から就労」支援事業により支援した人数(就職者数)	100名(60名)	301名(193名)	100%

第4章

地域資源を活かした活力あるまちづくり

(産業活力)

大綱Ⅳ 地域資源を活かした活力あるまちづくり

中小企業振興基本条例及び産業振興ビジョンを策定し、市内の商工業者、農業者、大学、金融機関等と連携しながら産業の興隆を図ってきているが、近年では生産年齢人口の減少による労働力不足、高齢化に伴う農業者の後継不足、中心市街地の更なる空洞化などが大きな課題となってきた。

今後、商工業の分野においては UIJ ターンの推進により若手人材の確保が求められるとともに、高度な情報技術を活用した官民連携による次世代産業の育成が重要なテーマとなっている。農業分野においては就農への障壁を緩和することで新たな担い手の確保や前橋産農産物のブランド化を推進していく必要がある。更に、まちづくり公社や地元企業との連携によるまちなかのにぎわい創出、赤城山などの地域資源を活用した官民連携による観光推進がこれからますます重要になってくる。

◆本大綱に位置付けられた指標の達成率分布

達成率	～50%	～75%	～99%	100%
件数	0	2	8	5

◆各施策における主要指標の実績

政策 1 活気ある産業経済活動を促進します

施策 01 中小企業の経営体質・基盤の強化

地域経済を支える中小企業の経営基盤を強化するため、経営の合理化を促進するとともに、多様なニーズに対応できる金融支援の充実を図ります。

〈主要指標名〉	(目標値)	(実績値)	(達成率)
工業統計調査における本市の製造品出荷額 (従業者4人以上の事業所)	6,000 億円	5,598 億円	93.3%

施策 02 競争力のある新技術・新産業の創出

企業の競争力強化を図るため、企業と学術研究機関の積極的な連携を促進し、各企業の強みを活かした新製品・新技術開発を支援します。

〈主要指標名〉	(目標値)	(実績値)	(達成率)
産学官を含む新製品・新技術開発の助成を受けた 自社開発件数(累積)	24 企業 (H20～H29)	34 企業	100%

施策 03 地域特性を活かした産業立地・創業促進

優良企業の誘致と新規創業の促進により、地域経済の代謝を促し、市場・雇用環境を活性化する必要があります。本市経済の新陳代謝と新たな雇用の創出に向けて、地元企業の市外への転出抑制を図りながら、市外の優良企業の誘致を積極的に進めるとともに、新規に創業しやすい環境づくりに努めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
企業誘致活動により新たな工業圏地へ立地した企業数(累計)	24 企業	39 企業	100%
	(H20~H29)		

施策 04 時代のニーズに応えた経済活動の促進

近年のICT技術の進展等により、多様な流通・小売形態が見られるようになり、これに応じて消費動向も変化していることから、消費者ニーズの変化や新たな流通形態への対応力を高めるため、小売・流通業者等の新たな事業活動を支援するとともに、消費者に信頼される経済活動を促進します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
いきいき・賑わい商店街支援事業、がんばる商店支援事業の件数	30 件	31 件	100%

施策 05 生き生きと働ける環境づくり

地域経済の要である中小企業の活力を維持するためには、従業員が意欲をもって働ける環境づくりに努め、労働生産性を高めていく必要があります。このため、働く意欲のある人や勤労者が、安心して生き生きと働ける環境の整備や充実を図ります。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
求職登録した人が就職できた割合	35.0%	33.4%	95.4%

政策2 中心市街地のにぎわいを創出します

施策01 活力ある商業地の形成

中心市街地の空洞化は、全国の地方都市共通の課題となっており、本市においても空き店舗の常態化や、商品販売額・歩行者数等の減少が続いています。中心市街地の「商業地」としての活力を回復するため、商店街や各店舗が持つ強み・特性を活かした魅力づくりに努め、街なかの利便性・回遊性の向上を目指します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
中心商店街における通行量 ※活性化区域内9箇所の一日の通行量合計	24,000人	15,790人	65.7%

施策02 魅力ある交流空間づくり

中心市街地は、長い歴史に育まれた文化的資源等を数多く保有しており、こうした文化的風土や魅力的な都市景観等を活かし、中心市街地を舞台とした文化芸術事業が数多く開催されています。多様な都市機能と文化的資源の集積を活かし、市民や事業者をはじめとする多くの人々の連携・協力により、魅力ある交流空間づくりを進めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
中心市街地における文化施設等の利用者数 (中央公民館・前橋テルサ・前橋文学館の利用者数の合計)	950,000人	857,521人	90.2%

政策3 力強い農業を推進します

施策01 農業の新しい価値の創造

全国有数の農業都市としての価値と魅力を高めるため、農業の六次産業化や前橋産農畜産物のブランド化を推進するとともに、市民をはじめ、多様な主体が農業に関心を持ち、関わる機会を創出します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
赤城の恵ブランド認証決定数	43品目	67品目	100%

施策02 安全・安心な生産・加工・流通・消費の推進

「食の安全」に対するニーズが高まっていることから、安全・安心な農畜産物の生産と、消費者ニーズに対応した流通体制・産地づくりを推進するとともに、前橋産農畜産物の販路拡大・地産地消を進めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
農産物直売所の売上額	16億7,000万円	14億6,000万円	87.4%

施策03 農業の担い手の育成・確保

本市農業の持続と発展のため、意欲と能力のある担い手の育成や確保を図るとともに、農業経営の安定化・効率化に向けた指導や助言、調査などの支援を行います。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
認定農業者数	689経営体	563経営体	81.7%

施策 04 効率的な農業生産基盤の整備

農業生産の効率化を図るため、農地の面的集積や、遊休農地の解消に取り組むとともに、大区画ほ場整備事業などの農業生産基盤の整備を進めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
農業の担い手に面的集積される農地面積	700ha	707ha	100%

政策 4 地域の特性を活かした「前橋観光」を振興します

施策 01 魅力ある観光資源の活用

市町村合併に伴い、赤城山山頂までが市域に加わったことで、本市は、赤城山を中心とした自然観光と、市街地を中心とした都市観光の二面を有することとなりました。本市のシンボルであり、最大の観光資源でもある赤城山の魅力向上に取り組むとともに、都市型観光の充実に努め、前橋全体の観光力の向上を図ります。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
観光客年間入込数	700万人	651万人	93.0%
※観光客調査(三大まつりなどを含む)による入込客数			

施策 02 「前橋」を売り込む観光プロモーションの推進

本市の数ある観光資源の中から、重点的に宣伝展開する観光資源を絞り込み、各種施策を展開するなど、本市の観光イメージ確立に努めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
各種媒体(新聞・TV・ラジオ・雑誌)等におけるPR機会	200件	180件	90.0%
※コンベンション協会も含む			

施策 03 前橋のやさしさを伝える観光ホスピタリティの向上

本市を訪れる方の満足度を高めるため、受け入れ側となる事業者・民間団体・地域住民・行政など、観光に携わる関係者の連携を再構築し、ホスピタリティ向上に努めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
観光ポータルサイトの閲覧数(市HP上位100以内での閲覧数)	400,000件	380,000件	95.0%

施策 04 前橋ブランドの普及・拡大

食によるまちづくりや新たな名産品の開発を促進し、「前橋ブランド」の普及・拡大を推進します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
TONTONのまち前橋「T-1グランプリ」への参加店舗数	100店	63店	63.0%

第5章

豊かな心を育むまちづくり

(教育・文化)

大綱Ⅴ 豊かな心を育むまちづくり

少人数指導による学校教育の充実や世代間交流を通じた社会教育などの人づくりを推進しており、また、全国レベルのスポーツ大会の開催やNHK大河ドラマと連携した地域文化の振興などスポーツ・文化振興に取り組んできた。一方で、人口減少や高齢化の進展を背景とした地域のつながりや世代間交流の希薄化が教育やスポーツ文化行政において大きな課題となってきた。

今後は、増加している不登校児童生徒への対応強化や、地域住民が自主的に学習できる社会を目指した公民館機能の充実と本庁管内のコミュニティセンターにおける社会教育の充実が重要となる。また、スポーツ環境に関する市民満足度の向上や文化芸術活動の振興、文化財の活用を図るため、前橋市の特色を活かした事業の推進や周辺環境を含めた整備が求められている。

◆本大綱に位置付けられた指標の達成率分布

達成率	～50%	～75%	～99%	100%
件数	1	1	4	8

◆各施策における主要指標の実績

政策1 豊かな人間性を培う社会教育を推進します

施策01 「学び」と「地域づくり」を結ぶ生涯学習の推進

生涯学習を単に個人の学びにとどめず、地域課題を解決する手段として活用しようとする機運が高まっており、学んだ成果を地域に還元できる仕組みが求められています。こうした背景を受け、市民の学習ニーズや地域課題に対応するため、公民館機能の充実や地域の担い手を育成し、学びを身につけた人を地域に活かす仕組みづくりに取り組みます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
公民館自主学習グループ数	900 団体	815 団体	90.5%

施策02 文化と暮らしを支える図書館の充実

図書館は、市民の学びの場として、また、都市のさまざまな情報を記憶する媒体として大きな役割を担ってきました。市民が自ら学び、考え、心豊かに暮らせるよう、また、子どもたちが楽しく読書に親しめるよう、図書館の充実を図ります。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
図書資料の利用冊数（視聴覚資料含む）	2,644,000 冊	2,116,205 冊	80.0%

施策 03 人間性豊かな青少年の育成

社会全体のつながりが希薄化する中、青少年が地域において多様な人間関係を通じて社会性を養う機会が減少しています。子ども同士の交流はもとより、さまざまな世代との「やりとり」や共同活動、体験的な活動などを通じ、人間性豊かな青少年を育成するため、家庭、地域、学校の連携を促し、健全な環境づくりを進めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
のびゆくこどものつどい(市内24会場)の総参加者数	35,000人	37,960人	100%

政策 2 共に学び合い考える力を育む学校教育を推進します

施策 01 学校力を高める学校経営の充実

災害や事故、放射能問題など、子どもを取り巻く脅威に対し、学校は安心して通い、学べる場であることが求められます。このため、子どもたちが元気に生き生きと学校(幼稚園)生活を送れるよう、環境や施設の整備を進めるとともに、学校経営の基盤となる各種指導体制の充実を図ります。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
学校課題の改善に関する保護者等アンケート (4段階評価で上位1位の割合)	75.0%	75.7%	100%

施策 02 感性と思考力を培う幼児教育の充実

幼児教育の質の向上により、豊かな感性と思考力を持った子どもを育成し、小学校への滑らかな接続を推進します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
幼稚園における子どもの成長に関する保護者のアンケート結果 (4段階評価で上位1位の割合)	70.0%	83.0%	100%

施策 03 魅力あふれる教育活動による小中学校教育の充実

基礎・基本の確実な定着をはじめ、知・徳・体のバランスの取れた教育を進めるとともに、子どもたちが「生きる喜び」や「学ぶ楽しさ」を味わえるような魅力ある教育活動を展開します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
(小中学校の)授業内容の理解に関する児童生徒アンケート (4段階評価で上位2位以上の割合)	90.0%	89.9%	99.8%

施策 04 活力ある市立前橋高校の実現

高校教育は、社会生活を送るうえで必要とされる教養や規範、節度などを学ぶ大切な過程であり、生徒が将来の進路や夢の実現に向けて、基礎的な力や人間力を培う学習の場として重要な役割を担っています。市立前橋高校の生徒一人ひとりの目標実現のため、基礎学力の向上や生き方教育の充実に努めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
生徒の部活動入部率	80.0%	81.0%	100%

施策 05 地域に貢献する高等教育機関の実現

本市は、前橋工科大学をはじめとする高等教育機関が充実しています。今後は、各機関が市民や地域、企業等との交流を深め、強みを活かして地域社会に貢献することが求められています。地域課題の解決や産業の活性化につながるよう、高等教育機関の知や専門性を活かした地域貢献や産学の連携を支援します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
外部研究資金(国や企業等からの拠出による)の獲得状況	25件	55件	100%

政策 3 元気づくりのスポーツを振興します

施策 01 魅力あるスポーツ環境の充実

スポーツ教室や軽スポーツフェスティバルの開催などにより、市民がいつでも、どこでも、気軽に生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを推進し、スポーツを通じた生きがいつくりや健康づくりを支援します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
スポーツ施設利用者の満足度 (4段階評価で上位2位以上の割合)	90.0%	92.0%	100%

施策 02 地域に根ざしたスポーツ文化の創造

全国大会の開催誘致や地域プロスポーツへの支援により、まちづくりの視点からスポーツの活用を図るとともに、本市のスポーツ文化の醸成を図ります。また、スポーツイベントの開催によるスポーツ振興と観光振興をタイアップした施策を検討していきます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
全国規模のスポーツ大会開催数	23回	11回	47.8%

政策4 個性と創造性あふれる地域文化を振興します

施策01 前橋文化を醸成する芸術文化の推進

アーツ前橋は、多様で質の高い芸術文化を推進することを目的とした、次世代に向けた前橋文化の核となる施設です。アーツ前橋を拠点とした創造的なアート活動に、さまざまな形で市民や地域が積極的に参加することで、新たな前橋文化を育みます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
アーツ前橋来館者数	100,000人	83,322人	83.3%

施策02 薫り高い文化・芸術創造の環境づくり

市民のライフスタイルや価値観が多様化する中で、芸術文化に対するニーズも多様化しています。このため、質の高い芸術文化の鑑賞機会の提供に努めるとともに、市民の主体的な芸術文化活動のより一層の促進を図る必要があります。前橋独自の文化発信と振興を進め、市民主体の芸術文化活動を促進します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
芸術文化関連イベント参加者数	76,700人	91,251人	100%

施策03 地域に根付く文化財の保護と活用

本市には、長い歴史に育まれた数多くの文化財や伝統文化が残されています。こうした先人たちの足跡を確かに記憶し、ふるさとを愛する心を育てるためには、将来に向けて大切に保存・継承するとともに、歴史学習・観光資源として積極的に活用する視点が必要です。歴史的資産や伝統文化を継承するとともに、市民共有の財産として積極的に活用します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
文化財関係施設(資料館等)来館者数	45,000人	57,009人	100%

施策04 国際交流と多文化共生社会の推進

国際化が進む中、日本人と外国人が共存、協働して地域を支え合う「多文化共生社会」の実現が求められています。多文化共生の環境づくりと、市民主体の国際交流を推進します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
国際交流協会のボランティア登録者数	550人	312人	56.7%

第6章

市民協働のまちづくり

(協働・行政経営)

大綱Ⅵ 市民協働のまちづくり

限りある経営資源の中で、タウンミーティングなどを通じて住民の意見を取り入れながら様々な行財政改革に取り組んできたが、人口減少、少子高齢化の進展や普通交付税の合併特例措置の段階的な終了による歳入減、そして社会保障費の増大や公共施設の老朽化への対応に伴う歳出増などにより、今後、更に厳しい財政状況が見込まれている。

今後は市民の個性、多様性を認め合いながら市民一人ひとりの活力を取り入れたまちづくりの推進を強化していく必要がある。また、行財政運営のスリム化や行政手続きのオンライン化の拡大などによる効率化、そして、より一層の歳入確保への取組など、聖域なき行財政改革を強力に推進していくことが求められている。

◆本大綱に位置付けられた指標の達成率分布

達成率	～50%	～75%	～99%	100%
件数	2	1	2	4

◆各施策における主要指標の実績

政策1 市民力・地域力を活かした市政を運営します

施策01 市民力・地域力の発揮

市民と行政のパートナーシップ（社会的課題や身近な地域課題を解決するため、市民と行政が役割分担を明確にし、協力関係を築くこと）をさらに促進し、市民の力、地域の力を発揮できるまちづくりを進めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
市民活動支援センターへの団体登録数	250 団体	331 団体	100%

施策02 開かれた行政の推進

市民と行政の情報共有・相互理解を深めながら、市民の声を活かした、身近で開かれた行政を実現します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
市民提案推進システムによる提案意見の実施数	25 件	7 件	28.0%

施策 03 一人ひとりを尊重する社会の推進

社会性と協調性を育みながら、「個」の尊厳が大切にされ、誰もが分け隔てられることなく、自分らしく生きることができる豊かな社会づくりを進めます。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
女性が子育てしながら働くことを支持する市民の割合	43.0%	45.0%	-

※平成 26 年度参考値

政策 2 経営感覚を持った行財政運営を進めます

施策 01 効果的な行政運営の推進

社会経済情勢がめまぐるしく変化し、市民ニーズが多様化する中、これからの行財政運営は今まで以上に、変化に対する柔軟な対応が求められます。市民ニーズに即した質の高い行政サービスを提供し、市民との信頼関係を確保するとともに、業務の効率化により柔軟な行財政運営を実現します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
職員数の適正化	2,640 人 (H30.4.1)	2,614 人	100%

施策 02 公共施設マネジメントの推進

市民ニーズや社会経済情勢、将来の人口動態などを踏まえ、公共施設の効率的かつ適正な管理運営を推進します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
公共施設（公園を除く）の延べ床面積及び敷地面積の合計	5,913,107 m ²	5,960,358 m ²	99.2%

施策 03 自立性の高い財政運営の確保

少子化・高齢化・人口減少の進展による税収の減少や社会保障費の増大などにより、今後、さらに厳しい財政状況が見込まれています。適正かつ安定的な財源確保に努めるとともに、事業の優先度や実施効果などに配慮した財源の配分に努め、経営感覚を持った健全な財政運営を推進します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
市民一人あたりの通常債残高	26.0 万円	28.2 万円	91.5%

施策 04 効果的・着実な政策推進

市民ニーズの多様化に伴い、地域課題が複雑化していることから、それらの課題解決に向けてトップマネジメントを強化し、スピーディーかつ的確な政策推進を図るとともに、周辺都市等との連携をさらに充実します。

「主要指標名」	(目標値)	(実績値)	(達成率)
主要施策の目標達成率（平均値）	100%	55.7%	55.7%

政策3 情報のひびきあうまちづくりを進めます

施策01 ICTを活用した行政サービスの充実

市民が必要とする利便性の高い、効率的な電子行政サービスの充実や質的向上などに取り組むとともに、国民ID制度などの新たな施策動向に対応していくため、ICTにより市民、地域、行政がつながり、相互に情報が行き交う電子自治体を推進します。

《主要指標名》	(目標値)	(実績値)	(達成率)
オンライン化された行政手続きの利用件数	251,000 件	590,528 件	100%

施策02 情報マネジメントの推進

安全で利便性の高い行政サービスの提供に向けた情報マネジメントの推進と、運営体制の確立に取り組めます。

《主要指標名》	(目標値)	(実績値)	(達成率)
情報システムの可用性 (稼働率)	99.99%	99.99%	100%

